



# 運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和6年1月号 第222号

(令和6年1月15日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール [tou-asu@netjoy.ne.jp](mailto:tou-asu@netjoy.ne.jp)

## ◆新年明けましておめでとうございます。 常務理事兼事務局長 鈴木正一

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのことと思います。

しかし、穏やかに新しい年が始まったと思っていた途端に、元旦には、能登半島で大きな地震が発生し、2日には、羽田空港で航空機同士の衝突事故がありました。能登半島の地震は、いまだ余震が続いております。被災された方々や事故に遭われた方々に、心からお見舞いを申し上げますとともに、ご遺族の方々には、心からお悔やみを申し上げます。

さて、昨年4月に事務局長として着任し、様々な会合や催し物に参加させて頂き、皆さんとの交流を通じて充実した1年を過ごすことができました。また、今年度は生活会議の方に、5団体の新規加入もあり、会員皆様の暖かいご支援・ご協力があったからと、心より感謝いたしております。今年も事務局としてもできる限りのご支援をさせていただくことを申し添え、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願い申し上げます。

## ◆2023都民フォーラム開催「環境問題とは、SDGsとの関係は そして私たちにできること」

令和元年度の実施を最後にコロナ禍で休止していた公益社団法人東京のあすを創る協会主催の「2023都民フォーラム」を4年ぶりに飯田橋の東京都消費生活総合センターで開催しました。はじめに、主催者を代表して東創協の中井敬三会長から挨拶があり、その後、一般社団法人日本有機資源協会専務理事の柚山(ゆやま)義人氏から「SDGs へ向かうバイオマス活用」と題して、講演が行われました(参加者31名)。



具体的には、「バイオマスとは」「バイオマス活用の価値」「最近の注目話題」「日本有機資源協会の活動」「私たちにできること」の5点について講演をいただきました。途中、「どっぼ子どもクラブ生活会議」の田中さんのご協力を得ながら、「こんにちは、しおちゃん」と題した紙芝居を用い、分かり易く説明をして頂きました。コロナ禍で自宅で過ごす時間が増え、また、昨今の物価高等による厳しい経済状況の中、ややもすると環境問題への意識が低下しているのではとも思います。そこで、私たちひとりひとりが環境問題を家族や仲間と話題にし、自宅等で生ごみを堆肥にするコンポストや天ぷら油を指定された回収場所へもっていく等、具体的に行動を起こすことが必要とのご意見をいただきました。また、CO<sub>2</sub>排出を抑えるバイオマス製品の購入促進やバイオマス活用の仕事で世界を担う人材の育成も必要とご意見も頂きました。



### バイオマスとは（農林水産省HPより）

バイオマスとは、生物資源（bio）の（mass）を示す概念で、動植物由来の有機質資源（化石資源を除く）であり、大気中の二酸化炭素を吸収しながらカーボンプリントと呼ばれる特性を有している。

バイオマスは持続可能なエネルギーとして活用、利用しては、国土強靱化の観点から地域活性化の促進、地域社会の発展にむけて我が国の成長産業として位置づけられるべきであり、その発展促進は重要課題として取り組まれている。

#### バイオマスの種類

- 農業系バイオマス
  - ・ 稲藁等（米）
  - ・ 麦わら
  - ・ 稲藁
  - ・ 稲わら
  - ・ 稲わら
  - ・ 稲わら
- 畜産系バイオマス
  - ・ 動物糞尿
  - ・ 動物の飼料残渣
  - ・ 動物の飼料残渣
  - ・ 動物の飼料残渣
- 森林系バイオマス
  - ・ 木材
  - ・ 木材
  - ・ 木材
- 産業系バイオマス
  - ・ 食品廃棄物
  - ・ 食品廃棄物
  - ・ 食品廃棄物

#### バイオマスの活用

- マテリアル利用
  - ・ 紙や紙類
  - ・ 紙や紙類
  - ・ 紙や紙類
- エネルギー利用
  - ・ 発電
  - ・ 発電
  - ・ 発電

#### バイオマス活用による課題

- 多くのバイオマスは、地産地消（産地消費）しているため、経済活性化に寄与する。
- 資源の枯渇や環境汚染の防止、CO2削減に寄与する。
- 地域活性化の促進（雇用創出）
- 環境負荷の低減（CO2削減）



### バイオマスマーク認定商品の数々（1）

①～⑮ 食品容器  
 ① 紙コップ  
 ② 紙コップ  
 ③ 紙コップ  
 ④ 紙コップ  
 ⑤ 紙コップ  
 ⑥ 紙コップ  
 ⑦ 紙コップ  
 ⑧ 紙コップ  
 ⑨ 紙コップ  
 ⑩ 紙コップ  
 ⑪ 紙コップ  
 ⑫ 紙コップ  
 ⑬ 紙コップ  
 ⑭ 紙コップ  
 ⑮ 紙コップ

（一社）日本バイオマス協会（JBA）

続いて、活動報告として、「どっぽ子どもクラブ生活会議」代表の田中純江氏から活動報告を行っていただきました。はじめに、田中氏のプロフィールからはじまり、「武蔵の森を育てる会」の会員になった経緯や「どっぽ子どもクラブ」設立（2016年）の経緯についての話がありました。次に、動植物との触れ合いや自然保護活動、作品制作や地域のイベントへの参加活動等、具体的な報告を頂きました。子ども達が生き生きとして活動する姿が目に見え、前向きに取り組んでいることが分かる素晴らしい報告でした。



最後に、「どっぽ子どもクラブ生活会議」の報告に対する質疑があり、高齢化、後継者不足等の課題がある中、今後、私たちの活動をどう進めていくかなど、意見交換を行いました。

4年ぶりの「都民フォーラム」の開催でしたが、皆さんに直接お会いし、活発な意見交換を行うことができ、充実した時間を過ごせました。講演をして頂いた柚山様、活動報告を頂いた田中様、そしてお忙しい中、ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。

